

エが 公民館報

第306号

御意見・御希望・お問い合わせは四賀公民館まで… TEL 64-3112

四賀の世帯数・人口

世帯数	1,946	世帯
人口	4,745	人
男	2,302	人
女	2,443	人

(平成28年9月1日現在)

「ありがとう四賀」
ふたたび

第31回

四賀コンサート開催

昨年、三〇回の記念コンサートが合併一〇年の節目の年に盛大に開催されました。そして、今年には「未来に向かって新しい船出」として、四賀村時代最後の平成十六年の第一九回を顧み、初心に帰りながら、その時に歌われた故郷讃歌「ありがとう四賀」を合唱することになりました。当時独唱で参加された元、会田中学校の音楽教諭の小松葉子さんを再び独唱にお



休憩後、松本交響楽団が登壇し、合唱

迎えし、九月三日に四賀小学校体育館を会場に開催されました。四賀鼓龍会虚空蔵太鼓の勇壮な演奏「建」「まつり」でコンサートが始まりました。続いて会田中学校吹奏楽部のコンテスト銅賞受賞の課題曲「マーチ・スカイブルー・ドリーム」と「天体観測」が演奏されました。



とともに演奏しました。合唱最初は四賀小学校六年生による「地球星歌」が披露され、次いで会田中学校生徒徒による「大切なもの」が歌われ、ともに大きな拍手を受けました。再び登場の四賀小学校の六年生と松本東部コーラス、四賀コンサート合唱団が登壇し、「大地讃頌」を合唱、会場に歌声が響き渡ります。その後、小学生と中学生は観客席に戻り、いよいよ故郷讃歌「ありがとう四賀」が演奏されます。独唱の小松葉子さんも登壇され、静かに奏でられた前奏から次第に壮大になり、合唱は大きな喝采を受けました。

最後に「故郷」を観客も一緒に全員で合唱しコンサートは幕を下ろしました。

「心に太陽を持って口びるに歌を持って」で始まる詩にある様に音楽には力がある!! 嬉しい時、苦しい時、悲しい時でさえも生きる勇氣、活力を与えてくれます。音楽って素晴らしい!! 地元で生まれ、地元の方々に大切に育てて頂いたコンサートが地域の音楽文化に留まらず、学都を標榜する松本市に少しでも貢献することが出来れば、と願うものです。



歩み続けて30年

四賀混声合唱団団長 佐々木清夫
「二人の百歩より百人の一步」
一年一年、一回一回を地道に大切に積み上げ、気がついたら30年が過ぎていました。

この間、コンサートに係わって頂いた総ての皆様、そして背中を押し力を与えてくれた地域の多くの皆さんの総力の力が見事に実を結び、その実績の上に現在があると思います。しかし、始めることより続けることの難しさを何回も味わった年月でもありました。





七月二十三日、「ふるさと公園しが」で四賀夏まつりが開かれました。晴天に恵まれ、会場にはどんだん人が増えてきます。プレステージの四賀の会の踊りとMABの演奏があり、ミス松本と四賀小学校の金管バンドのパレードで夏まつりが始まりました。

開会式に続き、パレードで活躍の四賀小学校金管バンドの演奏、スマイリーフジさんのマジック、おひさまレディーズ、本木昇ウイズフレンズ、mona



四賀夏まつり Summer!

さん、踊りや歌、演奏があり、陽が傾くころ四賀ソングと松本ほんぼんをみんなで輪になり踊りました。

ステージでは、035そして、高校生バンドが演奏し、四賀地区在住の歌手、花村佑子さんのコンサートが始まりました。地元での歌声に会場は大いに盛り上がりました。

ステージ最後は迫力ある鼓龍会虚空蔵太鼓です。太鼓の響きの後は花火の響きです。恒例の大花火大会が四賀の夜空いっぱいに開かれ、夏まつりは終わりました。

八月二十三日、南箕輪村にある「信州大芝高原みんなの森」を二十七名で歩きました。大芝湖のほとりの「愛の鐘（西伊豆の恋人岬と姉妹関係にある鐘）」を鳴らし、自分の体力に合わせて樹齢が百年



八月七日、四賀地区子ども会育成会主催の木工教室が、緑ヶ丘クラインガルテンで開催されました。

四賀小学校の児童と保護者の二十組四十名がそれぞれ額に汗しながら、木を切り、釘

四賀地区担当
清本 悠 保健師

四賀支所にいます!

お気軽にご相談ください。

- 10月11日(火) 11:00~3:00
- 11月16日(水) 9:00~11:00

を打ち、真剣な顔で作品に向き合う姿が見られました。

「作りたいものを切って組み立てていると、作りたいものが見えてくる」と、育成会会長が話されました。

児童が「何を作っているか、分からない」と悩んで組み立てていたものが、形になった時には笑顔になっていました。

①四賀にある木を使って作る。

②好きなものを作って遊ぼう。

という教室の二つのねらいは達成できたようです。親子の大切な夏休みの思い出になったのではないのでしょうか。

を超えるアカマツとヒノキに囲まれたウッドチップのコース（ライトコース・二・二km、イージーコース二・〇km）を楽しんできました。

ウォーキングの後は、近くのみはらしファーム内のレストランでのバイキング料理と大満足の日でした。

湧き水

▼夜半に山の方から「バキーン」と音がした。また松の木が枝が折れたんだと思つた。家の前の山の松はほとんどが枯れて緑の松は数えるほど。茶色の葉が付いている木は枯れて間もないが枝だけになった木も多い。樹高二十メートルにもなった松がびっしりと立ち並び風に揺れるとこすれあって枝を落とす。そのうちに音を立てて倒れる。台風でも来ればどうなるか心配だ。

▼心配のひとつは倒れた松が鳥獣防護柵をつぶす事だ。この町会だけでも柵を壊す心配の松が数十本ある。もう三本ほどが倒れ柵をつぶした。枯れて今にも倒れそうな大松を、町会の人員だけで処理するのは難しい危険だ。

▼現在、個人の山の松については山主任せの状況で処理をする事ができない所がほとんどである。松枯れ防除もほとんど不可能な現在では今後どれ程の松枯れが出るものか。もはや材に利用できないとなれば、燃料にするなりして何とか枯れ松を利用する方法を取れないものだろうか？四賀の無残な枯れ山が悲しい。